

施設名	一葉記念館	指定管理者の名称	財団法人 台東区芸術文化財団			
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
②類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所、スポーツ施設 7 箇所、その他施設（浅草公会堂）					
③経営状況	119 年度決算 歳入 1,095,816,781 円 歳出 990,411,042 円 収支差額 105,405,739 円 (区返納金 85,405,739 円 次期繰越金 20,000,000 円) 監査の結果、財団法人台東区芸術文化財団の事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より)					
2. 施設の概要						
①所在地	台東区竜泉 3-18-4					
②設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に「たけくらべ」を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
③利用者	区民ほか					
④開館日・開館時間	開館日：休館日（月曜日／12月29日～1月3日／特別整理期間等）を除く 開館時間：9時～16時30分（入館は16時まで）					
⑤規模	＜新記念館＞ 延べ床面積 861.04 m ² 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階 塔屋 展示室、収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、小会議室					
⑥人員体制	5名 派遣職員(1),再任用(1),再雇用(1),専門員(2)					
3. 事業（サービス提供）の概要						
①委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整とん、その他環境整備等の事業 施設使用料徴収などの事業					
②自主事業	施設特別展（一葉祭）					
4. 施設の稼動状況等						
		17年度	18年度	19年度		
	開館日数（日）	303	256	301		
	入館者数（人）	13,063	27,805	27,553		
5. 予算決算の推移 (単位：円)						
	年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	6,654,000	23,750,000	28,446,000	26,460,000	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	6,654,000	23,750,000	28,446,000	26,460,000	
決 算	委託料	4,522,282	14,979,125	23,734,870		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	4,522,282	14,979,125	23,734,870		
	収 支	0	0	0		

6. 評価項目	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]

7. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	管理運営に関する業務は、円滑に実施されている。
②施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。
③利用者の満足度	A	管理の基準を遵守し、サービス提供がなされている。
④歳入歳出	A	現状では妥当である。今後はさらに効率的な運営を行うよう指示していく。
⑤総合評価	A	委託業務は円滑に実施されており、指定管理者の施設管理は概ね適切である。

8. 課題への対応等

<p>収蔵品の調査・研究を進め、資料検索システムを充実させていきたい。</p>
